

saveMLAK

ニュースレター

第 50号

「海辺の図書館」番外編にってきました

東日本大震災の震災遺構として今年4月末に一般公開される旧・仙台市立荒浜小学校(今年3月末に統合のため閉校)が3月11日、仮公開されました。その際、近くの海岸で開催されたイベント「海辺の能楽 2017」に行ってきたので、レポートします。

「海辺の図書館」という活動の一環として能「羽衣」の一部を上演する催しで、舞台は砂浜を均し、海を背景にして太い流木らしいものを後ろへ横たえたもの。客席は堤防の階段。しかも楽屋と舞台の制約のため板付き(演者が舞台上にいる状態)で開演するばかりか、面を舞台で付け・外されるのを観られた点でも珍しい経験でした。

砂の上に軌跡が残る能楽の後ろには、やや曇りの海と、時おりとても細かな雪が降るなかでしたが、「あの日」もまた場所によって雪が降っていたことを思い出しました。

【糸野泰輔・saveMLAK ファンド係】

(上下とも糸野撮影)



「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016 受賞記念サミット in 紫波」のポスター展示で saveMLAK を紹介しました
紫波町のみなさまへ

お亡くなりになったすべての方とご遺族に心から哀悼の意を表します。

エル・ライブラリーは saveMLAK (博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報＝東日本震災復興支援ネットワーク)の活動を震災翌週からずっと続けてきました。

館長谷合は福島と宮城には何度も図書館復興支援のためのボランティアに伺いましたが、岩手には行ったことがありません。もう6年になるのかと感慨深いですが、まだ6年です。表面的には災害の傷跡は消えて行っていますが、みなさんが心と体に負われた傷はなかなか癒えないことと思います。

震災を忘れない。次の震災に備える。そのための地道な活動をこれからも続けていきます。

【谷合佳代子・エル・ライブラリー】



エル・ライブラリーを紹介するポスターの一番下にムラックくんが。手前に並んでいるのは大阪に関係のある本。サミット会場ではムラックくんクリアファイルも販売しました。

編集後記

本ニュースレターは7年目にして、記念すべき50号を数えるに至りました。saveMLAKを皆さまが支えてくださった結果であり、ファンド係の一人として、深くお礼申し上げます。先週、2016年度分の会計監査が終わったばかりですが、次の1年もよろしくお願いします。

さて、私事ながら運命のいたずらもあって大阪の私大を今年1月に退職して、2月に宮城県某所へ移住いたしました。（その都合で、ゆうちょ銀行の口座の住所も一緒に移動しました。）ちょうど、近隣の復興住宅が閉鎖されていく寸前のタイミングでした。

2月からの新しい職場への車通勤の道中、名取市閑上に向かうトラックと高確率ですれちがったり、海のほうにあった学校の仮校舎が通勤ルートに近かったり、など災害にまつわる光景を毎日遭遇します。このような光景は、数年後には見ることもないことでしょう。

でも、「次」がどこかで起きたとき、あのとき以上に上手に立ち向かうという大切な宿題を、saveMLAKとしてこれからもずっと解いていってほしいと思っています。

【今号編集担当・糸野泰輔】

saveMLAK 会計 2017年3月期会計報告

< 2017年3月期 >

収入	グッズ売上	25,086	イベント等
	受取寄付金	1,973	懇親会有志
	計	27,059	
支出		0	

3月末現在 残高 750,638円 (前月比 +27,059円)

【ファンド係：赤塚 昌俊】

編集発行: saveMLAK プロジェクト

発行日: 2017年6月4日 (第50号)

発行所: 神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル

さくら Works <関内> 408

アカデミック・リソース・ガイド

株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>

